|  |  |
| --- | --- |
| 地区振興協議会 | 人　口：843人世帯数：420世帯（令和４年３月末現在） |
| 所在地：〒729-6715世羅町大字下津田577番地1（津名自治センター内）電　話：0847-39-1047　(Fax兼用)e-mail：tsuna-jc@mail.mcat.ne.jp<https://www.facebook.com/tsuna.sera?fref> |
| 地区の紹介津名地区は、世羅町の北西に位置し、上津田・下津田・長田の一部からなり、県内有数の農業地域である。高原台地で比較的昼夜の気温差があり、米をはじめ大豆・アスパラ・キャベツ・菊など色々な作物の栽培がみられ、市場・産直で人気を博している。　地区内には、津田明神山や茶臼山がそびえる。津田明神山の中腹には、備北層群と粗面岩が露出しているが、これらは広島県天然記念物に指定されている。また、周辺には、花夢の里や、下津田の石畳などが存在する。津名地区振興協議会は、1978年(昭和53年)に設立され、15の振興会組織からなる。「個人の尊重と地域の連携連帯」「安心・安全・心の豊かな地域づくり」「自助自立の精神と奉仕の精神」を基底とし活動している。地域づくりビジョンテーマ　みんなで考える安全・安心な地域づくり目　標　①美しい景観の保全　　　　　　②伝統文化の保存伝承と体育スポーツの振興　　　　　　　　③地域の農業に元気を　　　　　　☆生産性の向上と生きがいのある農業をめざして　　　　　④安全・安心と活力ある地域活動の創造　　　　　⑤青少年の健全育成と保育所・学校との連携稲荷神社神殿入　　　　　⑥助け合いと自助自立の調和した地域づくり　　　　　⑦地域づくり推進体制の充実主な活動地区民運動会・敬老会・文化祭・夏祭り各種スポーツ大会・花いっぱい運動市町村運営有償運送交通空白地輸送運行業務津名自治センターふれあいショップ津名の運営など文化財等【県指定文化財】…茶臼山城、社叢・中村屋敷の土塁と石垣稲荷神社神殿入・津田明神の備北層群と粗面岩・瓜ヶ久保古墳稲生神社本殿付棟札・光友の石畳・中村屋敷の土塁と石垣【町指定文化財】…八幡神社の懸仏・吉祥寺の薬師堂、五輪塔、鐘楼、ネズ　ほか |